

3章 ポートランド市の都市計画と都市開発のあり方

ここでは、ポートランド市における都市計画及び都市開発の歴史と現行計画の実態を整理することで、その特徴を明らかにする。

3-1 1970年代のダウンタウンの都市再生

ポートランド全体の土地利用計画は、コンプリヘンシブ・プランになるが、歩きやすい街を実現しているのは、それ以前の計画と、そして市民参加を位置付けたことが大きい。そこで、ここでは、まず、1970年代のダウンタウン・プラン策定時からその経緯を見た上で、コンプリヘンシブ・プランについてみていくことにしたい。

1970年のセンサスによれば、ミドルクラスの家族人口の流出を報じている。これは、全米の他都市同様、自動車社会になって、郊外での戸建て住宅とより良い環境を求めて人がダウンタウンから郊外に移転し、それに伴い、人口が減少していった。Abbott が指摘しているように、ポートランドは、1970年代、①ダウンタウンの駐車場不足、②民間のバスシステムの破綻、③郊外部における大規模商業モールの存在が、ダウンタウンの活気を脅かし、ダウンタウンの衰退が一つの課題であった⁸。そのため、市は、交通計画、土地利用を含めた人口戦略 (Population Strategy) を策定する。これは公共交通を改善し、近隣コミュニティを再生し、ダウンタウンの都市計画を作るというものであった。

ダウンタウンの民間ビジネス事業者は、駐車場について1960年代から懸念していた。1969年、ダウンタウンにデパートに併設した2階建ての駐車場を12階建てに建て替える計画を立案する。自動車社会であったことと、当時、女性は駐車場まで1ブロックしか歩かないと考えられていたためである。しかし、この計画申請には二つの課題があった。一つが、全国的に環境保護機関が、大気汚染を問題視したこと、地元として、歴史的な建造物に隣接し、12階建ての駐車場の与える影響が問題視されたことであった。そのため、市は、開発許可の代わりにダウンタウン全体としての駐車場の調査研究を行うこととした。この調査研究グループには、駐車場問題を越えた人選が行われ、近隣住区の活動家や建築家のみならず、ビジネスリーダーなど政治にも関係する人たちが選ばれた。そのため、駐車場問題を越えて、いかに「街で住み、働くか」が議論された。

都市の発展			
1970	1972	1974	1974
パイオニア・コートハウス・スクエア 市は12階建ての駐車場計画を不許可とした。最初の市の象徴的な市民が集まるスポットづくりの第一歩となった。	ダウンタウン・プラン 市の都市計画と市民活動家がセントラルシティから伸びる密度の高い交通コリドーを含む革命的な変更を伴うポートランドの最初のダウンタウンプランを策定する。	マウント・フード・フリーウェイ 市の活動家による新しいハイウェイの反対。市とカウンティのリーダーらは、フリーウェイを廃止し、ライトレイルの導入に変更。	ハーバードライブ ハーバードライブ・フリーウェイを廃止し、ウィラメット川の西側はウィラメット公園として再生される。

図 3-1-1 Oregnian の Pam Martin のコラムにみるポートランドの都市の発展

駐車場調査研究は、最終的には、①駐車場は路上での短時間に限定し、長時間駐車場は注意深く配置を考慮すること、②特にダウンタウンの中心部から川に向けて、建物の高さに上限を加えること、③新しい業務ビルの建設では、1階部分に店舗やレストランを入れ、従業者が街にでる機会を創出すること、④大規模業務ビルは特定エリアに限定し、小規模ビジネスが歩行者が回遊するエリアに誘導すること、とした。これは、結果的に、現在のポートランドで実現していることであり、また、それが社会・経済性を反映した人の参加によって考えられていることが重要であろう。結果として、12階建ての駐車場申請は、現在のパイオニア・コート・スクエアとなった(図3-1-2)。

こうした課題を抱えながら、ポートランドが都市づくりで大きく発展したのは、1970年にチーフ・アーキテクトとして、ニール・ゴールドシュミットが選出され、1971年から73年までコミッショナーに、そして、この人が1973年から79年まで市長になったことが大きいと言われている。図3-1-1に示したように、オレゴン州の新聞Oregonianのまとめた70年代の主要な都市発展の出来事は、ほぼ、ゴールドシュミットの業績である。

ゴールドシュミットは、当時の州知事トム・マッコールと州のハイウェイ委員会に働きかけ、ダウンタウンの再生に力を注いだ。これには、市民、市役所、不動産所有者、民間ビジネス事業者が参加し、これまで討議されなかった駐車場、バスサービス、住宅、商業といった課題を一つのパッケージとして戦略方針として、ダウンタウン・プラン(Downtown Plan)の策定につながっている(図3-1-3)。このダウンタウン・プランは、その目標をCitizens Advisory Committee(市民の勧告委員会)が基本となる目標設定を行っていることが高



図3-1-2 パイオニア・コートハウス・スクエア
2018年2月撮影

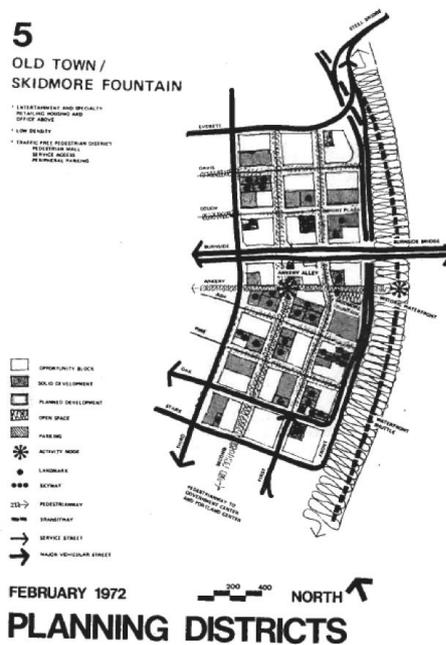


図3-1-3 Downtown Plan(1972)

3-2 コンプリヘンシブ・プランにみる土地利用の方向性

前述したとおり、オレゴン州では、すべての市がコンプリヘンシブ・プランの策定が義務となっている。ポートランド市は、1980年に Comprehensive Plan 1980(コンプリヘンシブ・プラン 1980)を策定した。この計画は、2000年を目標年次とした計画であるものの、2011年まで必要に応じて改定され、現在まで存続している。そこで、ここでは、1980年のコンプリヘンシブ・プランの内容を見た上で、都市づくりでの特徴を見ていくことにしたい。

1980年のコンプリヘンシブ・プランの目指すべき都市像は、「アメリカで最も活気のある街」とされており、市民参加を始めとした10項目の政策テーマが掲げられている。

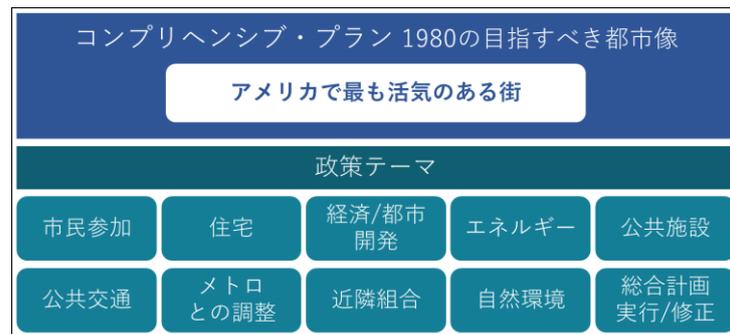


図 3-2-1) コンプリヘンシブ・プラン 1980の概要
資料：The City of Portland「1980 Comprehensive Plan」

また、各政策テーマにおける施策の詳細を図 3-2-2、表 3-2-1～表 3-2-3 に整理した。テーマごとの施策数をみると(図 3-2-2)、施策数は公共施設>公共交通>経済/都市開発>自然環境の順に多いことがわかる。なお、公共施設は、公共交通分野や経済/都市開発分野、環境分野の政策と関連している(表 3-2-1)ため、ポートランド市は、公共施設を除くと公共交通分野、経済/都市開発分野及び環境分野の政策に注力しているといえる。

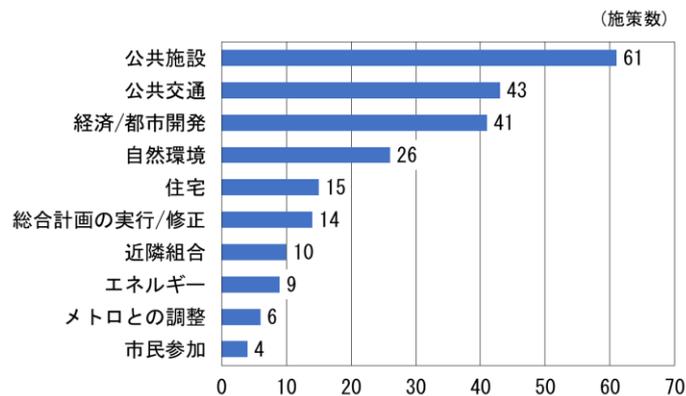


図 3-2-2) コンプリヘンシブ・プラン 1980における政策別テーマの施策数
資料：The City of Portland「1980 Comprehensive Plan」

表 3-2-1) コンプリヘンシブプラン 1980 における各政策テーマの施策概要①

政策テーマ：公共施設 (Public Facilities)	
テーマ 目標	既存の市街地並びに新しい都市開発に併せて 効率的かつ迅速な公共施設と公共サービスを提供すること
主な 施策内容 【61施策】	<p>○ <u>公共施設の計画設計/開発整備/維持管理【49施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市生活サービス境界内における公共施設及び設備の整備促進 ・上下水道設備を始めとする様々な公共施設及び設備の維持管理 ・環境に優しい公共交通システムの計画設計及び建設 <p>○ <u>交通システム及び公共施設の省エネ化【8施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年毎の交通システムのパフォーマンス評価 ・環境資源の保護に向けた公共施設に対する省エネ設備の導入促進 <p>○ <u>その他【4施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道における新旧の管路設備の接続推進 ・公共施設への消防設備の導入支援 等
政策テーマ：公共交通 (Transportation)	
テーマ 目標	快適かつ利便性の高い交通システムを開発することで 地域経済の強化や環境負荷の低減を推進すること
主な 施策内容 【43施策】	<p>○ <u>交通インフラの開発整備・維持管理【28施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通沿線におけるTOD(公共交通指向型開発)の推進 ・交通手段別における道路標識の整備及び道路デザインの明確化 ・様々な交通インフラの開発整備、維持管理及び改修工事の推進 ・地域活性化に向けた市東部を中心とする公共交通整備計画の推進 <p>○ <u>交通システムの構築【11施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急活動時の道路ネットワークの構築推進 ・他地域との交通システムの規格統一化 <p>○ <u>その他【4施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利用促進に向けた交通教育プログラムの実施 ・LRTとバスの利便性向上に向けた24時間運行サービスの強化 ・交通混雑緩和に向けたラッシュ時の運行料金の値上げ 等
政策テーマ：自然環境 (Environment)	
テーマ 目標	大気や水質、土壌の質を維持/改善させること及び 地域の人々や事業所に対する騒音被害を軽減させること
主な 施策内容 【26施策】	<p>○ <u>自然環境資源の保全【21施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境資源保護に向けた森林、河川、農地、高地等の開発規制の強化 ・都市部における公園や緑地等のオープンスペースの保全 ・生態系保護に向けた特別保護エリアの設定 <p>○ <u>その他【5施策】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェアや自転車等の代替交通手段の普及推進 ・騒音被害抑制のための建設現場や空港等における騒音対策の強化 ・洪水被害の抑制に向けた護岸整備の推進 等

資料：The City of Portland 「1980 Comprehensive Plan」

表 3-2-2) コンプリヘンシブプラン 1980 における各政策テーマの施策概要②

政策テーマ：経済/都市開発 (Economic Development / Urban Development)	
テーマ 目標	地域の個性を守りつつ、都市部の面的開発や雇用機会の拡大を促進することで ポर्टランドを雇用機会/人口/文化の集積する都市にすること
主な 施策内容 【41施策】	<p>○都市開発【27施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用地の供給による人口増加の促進 ・安定的な人口増加のための様々な雇用機会の創出 ・市中心部での職住近接の促進 ・市中心部への都市機能の集約化及び面的開発の推進 ・複合開発による建物ミクストユースの促進 ・公園やゴルフ場、遊歩道等の整備促進 ・森林地帯での開発規制の強化 ・遊休地を始めとする未利用地の活用推進 ・特定地域における工業団地の開発や科学技術地区の確立の推進 <p>○経済開発【14施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用機会拡大に資する都市(再)開発に対する投資促進 ・都市再生地区での公共インフラ開発に対する投資促進 ・都市再生地区への企業誘致の強化 ・移転企業の事業拡大に向けたインセンティブの制度化の推進 ・商業地域の活性化に向けた犯罪抑止対策の強化や事業環境の整備促進等
政策テーマ：住宅 (Housing)	
テーマ 目標	多種多様な需要に合わせた様々なタイプの住宅の 供給により地域全体の活力を高めること
主な 施策内容 【15施策】	<p>○持続可能な住宅開発/住宅供給【8施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる所得層・家族規模を念頭にした様々なタイプの住宅開発の強化 ・土地利用規制の一部変更による住宅用地の確保 ・省エネ設備及び省エネ建材の利用等による持続可能な住宅開発の推進 ・最新技術の活用による建設工事の効率化や省エネを推進 <p>○住宅ストック確保/住宅市場の安全性・公平性確保【7施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームやリノベーションを活用した既存住宅の有効利用 ・建築基準設定による住宅の品質確保の推進 ・公平な住宅市場の実現に向けたマイノリティへの差別禁止に関する施策実施等
政策テーマ：総合計画の実行/修正 (Plan Implementation and Review Process)	
テーマ 目標	都市開発の枠組みを常に最新の状態にするために 都市総合計画を州法や計画本来の目的に沿わせつつ定期的に更新すること
主な 施策内容 【14施策】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な都市総合計画の見直し及び修正 ・市議会との都市総合計画の調整 ・土地利用計画の最新データを基にした都市総合計画マップの更新等

資料：The City of Portland「1980 Comprehensive Plan」

表 3-2-3) コンプリヘンシブプラン 1980 における各政策テーマの施策概要③

政策テーマ：近隣組合 (Neighborhoods)	
テーマ 目標	人々や企業をポートランドに呼び込みつつ、 既存の近隣組合の多様性と安全性を維持向上させること
主な 施策内容 【10施策】	<ul style="list-style-type: none"> ・行政参加に対する近隣組合の関心を喚起する施策の実施 ・情報公開を通じた近隣組合による行政参加の促進 ・マイノリティへの支援を通じた近隣組合の多様性の維持向上 ・地域活性化に向けた市東部における近隣組合計画の改善 等
政策テーマ：エネルギー (Energy)	
テーマ 目標	地域のあらゆる場所においてエネルギーの効率化を 進めることで持続可能な社会を目指すこと
主な 施策内容 【9施策】	<p>○省エネ設備及び再エネ設備の導入推進【5施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の各部門における省エネ設備の導入促進 ・既存住宅地への省エネ設備の導入支援及び省エネ住宅の開発推進 ・太陽光を始めとする再生エネルギーの活用推進 <p>○その他【4施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業地域や工業地域におけるエネルギー効率化の取組促進 ・ガソリンに代わるエコな代替燃料の普及促進 ・交通需要の削減に向けたテレコミュニケーションの利用推進 ・エネルギーの節約に向けた資源のリユース及びリサイクルの促進 等
政策テーマ：メトロとの調整 (Metropolitan Coordination)	
テーマ 目標	都市総合計画を連邦政府や州の法律と沿わせつつ、 メトロの定める地域計画と整合性を図ること
主な 施策内容 【6施策】	<ul style="list-style-type: none"> ・メトロとの将来的な地域計画の調整 ・メトロの設定した都市成長境界線の尊重 ・都市成長境界線を基にした都市生活サービス区域の設定 等
政策テーマ：市民参加 (Citizen Involvement)	
テーマ 目標	土地利用計画の意思決定プロセスや総合計画の 実行/見直し/修正に対する市民参加の機会を提供すること
主な 施策内容 【4施策】	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体との調整による土地利用計画への市民参加の促進 ・他の政府機関が主導する土地利用計画への市民参加の促進 ・5年毎の都市総合計画の見直しや修正時への市民や民間企業の参加促進 等

資料：The City of Portland 「1980 Comprehensive Plan」

その後、ポートランド市は、2012年に策定したポートランドプラン(地域の将来の繁栄に向けた5つの原理原則として①経済の繁栄、②人々の健康、③環境衛生、④公平性、⑤災害への強靭性を掲げた)を基に、2016年にコンプリヘンシブ・プラン 1980をコンプリヘンシブ・プラン 2035に更新した。この計画は、2035年を目標年次とする次期上位計画として2018年5月に施行される予定となっている。

コンプリヘンシブ・プラン 2035の概要をみると(図3-2-3)、同計画の目指すべき都市像は、「経済的繁栄、健全かつ公平な社会、並びに災害への強靭性を持つ街、かつ、全ての市民があらゆる物事的意思決定に参加する機会を得られる街」と定められており、8項目の政策テーマを掲げていることがわかる。尚、コンプリヘンシブ・プラン 2035では、前計画の進捗を踏まえ、「メトロとの調整」が削除され、「市民参加」と「近隣組合」が「地域参加」に統合されている。また、経済・都市開発とエネルギーの連携の重要性から、新計画ではエネルギー施策が「経済開発」及び「都市計画/都市開発」に組み込まれている。

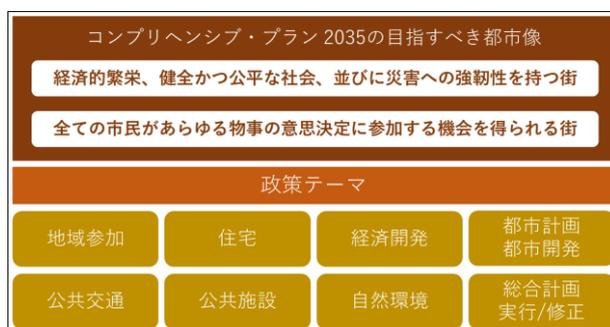


図3-2-3) コンプリヘンシブ・プラン 2035の概要
資料: The City of Portland 「2035 Comprehensive Plan」

また、各政策テーマにおける施策の詳細を図3-2-4、表3-2-4～表3-2-7に整理した。テーマごとの施策数をみると(図3-2-4)、施策数は公共施設、都市計画/都市開発、経済開発、公共交通、自然環境の順に多いことがわかる。なお、コンプリヘンシブ・プラン 2035は、前計画の施策に加えて新たな施策を追加したため、全体的な施策数は増加している。以上より、ポートランド市は、今後も公共交通分野、経済/都市開発分野及び環境分野の政策を重点的に推進していくことがわかる。

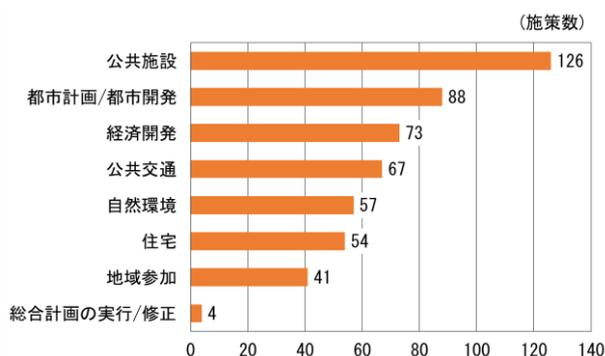


図3-2-4) コンプリヘンシブ・プラン 2035における政策別テーマの施策数
資料: The City of Portland 「2035 Comprehensive Plan」

表 3-2-4) コンプリヘンシブプラン 2035 における各政策テーマの施策概要①

政策テーマ：公共施設 (Public Facilities)	
テーマ 目標	公共サービス水準の向上や既存サービス網の拡充、 人々及び環境に優しい公共施設の開発及び公共サービスの提供を推進すること
主な 施策内容 【126施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>公共サービス水準の向上及びサービス網の拡充【38施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の改修及び職員訓練による公共サービス水準の向上 ・ サービス不平等の是正に向けた既存公共サービス網の拡充 ○ <u>公共施設の計画設計/開発整備/維持管理【62施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市東部を中心とした公共施設及び設備の整備促進 ・ 上下水道設備を始めとする様々な公共施設及び設備の維持管理 ・ 環境に優しい公共交通システムの計画設計及び建設 ○ <u>交通システム及び公共施設的环境負荷低減化【18施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5年毎の交通システムのパフォーマンス評価 ・ 公共施設に対する省エネ設備の導入促進 ・ 交通システムに対する再エネ設備の導入促進 ○ <u>その他【8施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道における新旧の管路設備の接続推進 ・ 公共施設への消防設備の導入支援等
政策テーマ：都市計画/都市開発 (Design and Development)	
テーマ 目標	人々及び環境に優しい都市デザイン/都市開発や、 歴史的文化施設及び自然景観の保全、都市の低炭素化を推進すること
主な 施策内容 【88施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>人々/環境に優しい都市デザインの普及【29施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ エリア毎の個性に応じた都市デザインの推進 ・ 歩行者空間や自転車専用道路のデザインの明確化 ○ <u>職住近接や複合都市開発、都市の低炭素化の推進【39施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 面的エネルギー利用の促進 ・ 市中心部での職住近接の促進 ・ 市中心部への都市機能の集約化及び面的開発の推進 ・ 複合開発による建物ミクストユースの促進 ○ <u>オープンスペース及び歴史的文化施設の維持とその利活用【20施策】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の歴史的文化施設の保全維持活動の促進 ・ 公園やゴルフ場、遊歩道等の整備促進 ・ 森林地帯での開発規制の強化 ・ 遊休地を始めとする未利用地の活用推進

資料：The City of Portland 「2035 Comprehensive Plan」

表 3-2-5) コンプリヘンシブプラン 2035 における各政策テーマの施策概要②

政策テーマ：経済開発 (Economic Development)	
テーマ 目標	未利用地の都市再開発や効率的な土地利用、産業振興策等を通じてポートランドでの雇用機会を拡大し、経済繁栄を促すこと
主な 施策内容 【73施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>産業クラスターの整備や近隣組合での事業の推進</u> 【24施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定地域における工業団地の開発の推進 ・ 特定地域における科学技術クラスターの確立 ・ 近隣組合における事業地区の確立と機能設定 ・ 近隣組合における事業地区への投資促進 ○ <u>都市再生地区での都市再開発及び企業誘致の促進</u> 【42施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市再生地区での公共インフラ開発に対する投資促進 ・ 都市再生地区への企業誘致の強化 ・ 移転企業の事業拡大に向けたインセンティブの制度化の推進 ・ 雇用機会拡大に資する都市(再)開発に対する投資促進 ○ <u>商業地域の活性化に向けた施策推進</u> 【7施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業地域の活性化に向けた犯罪抑止対策の強化 ・ 商業地域の活性化に向けた事業環境の整備促進等
政策テーマ：公共交通 (Public Transportation)	
テーマ 目標	快適かつ利便性の高い交通システムの開発や公共交通網及び交通手段別道路標識の拡充等を通じて人々や環境に優しい街づくりを推進すること
主な 施策内容 【67施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>交通手段別における道路デザインの普及</u> 【20施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通手段別道路標識の整備推進 ・ 歩行者空間や自転車専用道路の道路デザインの整備 ○ <u>交通インフラの開発整備と維持管理</u> 【23施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通沿線におけるTOD(公共交通指向型開発)の推進 ・ 様々な交通インフラの開発整備、維持管理及び改修工事の推進 ○ <u>交通システムの構築と運営管理</u> 【15施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急活動時の道路ネットワークの構築推進 ・ 他地域との交通システムの規格統一化 ○ <u>その他</u> 【9施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関の利用促進に向けた交通教育プログラムの実施 ・ LRTとバスの利便性向上に向けた24時間運行サービスの強化 ・ 交通混雑緩和に向けたラッシュ時の運行料金の値上げ等

資料：The City of Portland「2035 Comprehensive Plan」

表 3-2-6) コンプリヘンシブプラン 2035 における各政策テーマの施策概要③

政策テーマ：自然環境 (Environment)	
テーマ 目標	大気や水質、土壌の質の改善や騒音被害の軽減、 自然環境及び生態系の維持保全を推進すること
主な 施策内容 【57施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○大気、水質、土壌の質の維持改善【15施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・未利用地域における土壌汚染の対策強化 ・大気汚染、水質汚染への対策強化 ○オープンスペースや自然環境の保全【29施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・環境資源保護に向けた森林、河川、農地、高地等の開発規制の強化 ・都市部における公園や緑地等のオープンスペースの保全 ・生態系保護に向けた特別保護エリアの設定 ○その他【13施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・ライドシェアや自転車等の代替交通手段の普及推進 ・騒音被害抑制のための建設現場や空港等における騒音対策の強化 ・洪水被害の抑制に向けた護岸整備の推進等
政策テーマ：住宅 (Housing)	
テーマ 目標	公正で健全、かつ低価格な省エネ住宅市場の確立や 公共交通を軸とした住宅開発の推進、 地価上昇に伴う低所得者の立ち退きの軽減を実現すること
主な 施策内容 【54施策】	<ul style="list-style-type: none"> ○多種多様なニーズに合わせた住宅の開発とその供給【20施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる家族規模を念頭にした様々なタイプの住宅開発の強化 ・土地利用規制の一部変更による住宅用地の確保 ○アフォーダブル住宅の開発【18施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・市東部におけるアフォーダブル住宅の開発促進 ・アフォーダブル住宅開発のための基金設立 ○省エネの住宅開発及び建設現場の環境負荷低減化【7施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ設備及び省エネ建材の利用等による持続可能な住宅開発の推進 ・最新技術の活用による建設工事の効率化や省エネを推進 ○住宅ストック確保/住宅市場の安全性・公平性確保【19施策】 <ul style="list-style-type: none"> ・リフォームやリノベーションを活用した既存住宅の有効利用 ・建築基準設定による住宅の品質確保の推進 ・公平な住宅市場の実現に向けたマイノリティへの差別禁止に関する施策実施等

資料：The City of Portland「2035 Comprehensive Plan」

表 3-2-7) コンプリヘンシブプラン 2035 における各政策テーマの施策概要④

政策テーマ：地域参加 (Community Involvement)	
テーマ 目標	地域で行われるあらゆる物事の意味決定プロセスに対する 近隣組合や各市民の参加機会の創出とその拡大を図ること
主な 施策内容 【41施策】	<p>○地域活動及び土地利用計画への市民参加の推進【21施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイノリティを中心とした市民による地域活動への参加促進 ・市民団体との調整による土地利用計画への市民参加の促進 ・他の政府機関が主導する土地利用計画への市民参加の促進 <p>○その他【20施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政参加のプロセスの透明化とその評価 ・行政参加に対する近隣組合の関心を喚起する施策の実施 ・情報公開を通じた近隣組合による行政参加の促進 ・マイノリティへの支援を通じた近隣組合の多様性の維持向上 ・地域活性化に向けた市東部における近隣組合計画の改善等
政策テーマ：総合計画の実行/修正 (Plan Implementation and Review Process)	
テーマ 目標	都市開発の枠組みを常に最新の状態にするために 都市総合計画を州法や計画本来の目的に沿わせつつ定期的に更新すること
主な 施策内容 【4施策】	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な都市総合計画の見直し及び修正 ・市議会との都市総合計画の調整 ・土地利用計画の最新データを基にした都市総合計画マップの更新等

資料：The City of Portland「2035 Comprehensive Plan」